

職員による自己評価

保護者による評価

・ A 環境面
施設環境や生活空間の整備については概ね適切であるとの評価。児童が安心して過ごせる環境づくりを今後も利用状況や児童の特性に応じて環境整備を継続していく。

・ B 児童への支援内容
アセスメントに基づく支援計画の作成や職員間での共有など、基本的な支援体制は適切に行われているとの評価。継続して児童一人ひとりの特性に応じた支援の充実を図っていききたい。

・ C 関係機関との連携
学校との情報共有は行っている一方で、他関係機関との連携については理解に差が見られた。常勤が主に参画しているため内容に関しての共有が乏しい。

・ D 保護者への説明責任・信頼関係
児童の様子や相談対応など、保護者との連携については概ね良好な評価。今後も丁寧な説明と情報共有を行い、信頼関係の維持に努めていく。

・ E 非常対応
事故防止や感染症対策などの取り組みは概ね実施されています。一部の計画や体制については周知不足が見られた。今後は職員への共有を進め、安全管理体制の強化を図る。

A.環境面
活動スペースの確保や施設の清潔さについては、多くの保護者から概ね「はい」の回答。
一方で、設備面や環境構造について「わからない」との回答も一定数の回答有。

B.児童への支援内容
個別支援計画の作成や支援内容については、概ね適切に実施されているとの評価が得られた。今後は、支援内容の充実に加え、活動機会や取り組みの周知にも取り組んでいきたい。

C.事業所からの情報発信
保護者との日常的な情報共有については概ね良好な評価が得られた。一方で、通信や SNS 等による活動報告や情報発信については「わからない」との回答も見られている。
紙面での活動報告や職員の情報発信を昨今開始した。

D非常対応
避難訓練や安全確保に関する取り組みについては、十分に周知されていない回答が見られた。
今後は、訓練の実施状況や安全対策について、保護者への周知をより丁寧に行っていく。

事業所内での分析

【共通点】

・ 家庭との連携を十分に行えていることが現れた結果として職員、利用者ともに支援に対する評価を高くいただけている

【相違点】

支援の質に関しておおむねよい評価をいただくことができているが、利用者が普段過ごしている「環境面（所内・スタッフ・活動内容）」に関しての理解のばらつきが見られている。

分析・検討してみても…

事業所の強み

○昨年に引き続き、提供しているサービス内容に関しておおむね満足をいただけていることがわかり、今後とも継続して行っていく。

○スタッフ間の情報伝達や対応において迅速に行うことができていることが要因として現れたと考える。

事業所の改善点

○職員評価の結果、利用者への支援に関する項目では「はい」の回答が多く、支援体制は概ね適切に実施されていることが確認された。一方で、事業所運営に関する項目については理解にばらつきが見られ、情報共有の機会が十分でない場合もあると考えられる。今後は職員間での情報共有の機会を増やし、「わからない」を減らす取り組みを進める。

○利用者への災害対策や活動内容などの理解にばらつきがあり、「情報発信」に関して周知が乏しい結果となったため、事前に周知できる内容（行事予定等）は前もって告知などを行う。

事業所の改善への取り組み

○施設の設備などを、活動報告のトピックの中に事業所内の情報を掲載して周知を行っていく。
紙面の活動報告を作成し、職員一覧を掲載（集計後に配布実施）した。

○スタッフ間の運営面の周知に関しては出勤時の全体共有に加え、書面や周知をする機会の頻度や種類を増やしていく。

○活動内容の周知に関しては今後事前告知などを検討していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

日頃より事業所の運営にご協力いただきありがとうございます。

皆様の評価をもとに支援におおむね満足いただけていることスタッフ一同嬉しく思います。

利用者様が過ごされている環境に関して周知できていない箇所があることがわかり、今後とも安心して過ごしていただけるよう改善してまいります。

事業所名 Be-NEXT 白楽

担当者 竹内 翔吾